ええとこあるやん、奈良。

奈良遺産70

奈良新聞創刊70周年プロジェクト

2016年10月に、
創刊70周年を迎えた奈良新聞。

これまでのご愛顧に感謝し、
これからの奈良をもっと元気にしたい。
そんな想いから始まった
「奈良遺産70」プロジェクト。

“おすすめしたい奈良”を一般公募し、
その中から、奈良の魅力あふれる
70の「奈良遺産」を認定しました。

ぜひこのマップをお持ちになって、
奈良の“ええとこ”を再発見しに
「奈良遺産」を巡ってみてください。

奈良遺産憲章

一. 奈良県民に親しまれ、
愛されていること。

一. これから先もずっと、
奈良にのこしたいものであること。

一. 奈良ならではの歴史、文化、技術、
思想が込められていること。

一. 「奈良っていいな」
「奈良っておもしろいな」
とあらためて思えること。

一. 奈良県以外の人にも、
ぜひ体感してほしいもの。

一. とにかく“奈良”を感じること。

選定委員

選定委員長 TOKIOリーダー
城島 茂

東京大学大学院教授
ロバート キャンベル

地方創生クリエーター
海豪 うるる

RAHOTSU代表
別所 史

THE NARA HERITAGE 70

Nara Newspaper 70th Anniversary

奈良遺産70

奈良の魅力を再発見したいという想いからはじめた「奈良遺産70」プロジェクト。

お寺も歴史もすごいけど、それだけじゃない。
取材をする中で、私たちが暮らす奈良には、
“ええとこ”がこんなにあることに、
改めて気付かされました。

奈良には、まだまだ知られていない、
伝えたい魅力がたくさんあります。

私たちはこれからも、地元新聞社ならではの目線で、
奈良のモノ、コト、ヒトを発信していきます。

これまでの感謝を、これからの力に。

奈良新聞社
〒630-8686 奈良市 法華寺町 2番地4

奈良遺産70× NAVITIME
スマホアプリで巡る
奈良遺産70
周遊コースも迷わず快適に!

奈良の名産や名所・文化を公募で選ぶ「奈良遺産70」をナビタイムでご紹介します。あなたの移動スタイルにあわせてナビタイムのアプリをご利用いただけます。奈良を訪れて、奈良の魅力を味わっぱい感じてください!

NAVITIME ドアtoドアの最適なルート案内
ドライブサポーター カーナビアプリの決定版!

「奈良遺産70」特設サイト
ナビタイムはあなたの移動方法やスタイルに合わせた「奈良遺産70」の楽しみ方をご提案します。

【掲載の記事・写真・図版などの無断転載を禁じます。】Copyright Nara newspaper. All Rights Reserved.

自然・風景

01 人っぽい奈良公園の鹿 奈良市
観光客におじぎをしてせんべいをねだる姿や、夏場に冷気の残る道路の背満で涼む様子はどこか人間的。当たり前のように奈良の街を闊歩し、横断歩道ですれ違っても奈良の人は車に介さない。奈良特で立ち止まる面もいるという。人と野生の鹿が共生する光景は県外や外国の人から不思議がられる。1300年間続く平和の証した。
う-4

02 奈良公園のディアライン 奈良市
正倉院南側で「おかっぱザクラ」の名で親しまれるベニシダレザクラ。鹿は桜の花が好むといわれ、青が届く高さまで花や枝を食べ尽くすため、に枝ぶりが、きれいに切りそろえた「おかっぱ」の髪型に似て見えることから付いた愛称。奈良公園の樹木は鹿が食べることのできる高さまで横一線に刈りそろえたように見え、「ディアライン」と呼ばれる。
い-4

03 色町の風情が残る町並み 木辻 奈良市
日本最古の遊廓といわれる。古くは平城京運都で都建設に従事するために集った多くの建築作業員を目当てに設置されたとの説もある。井原西鶴の「好色一代男」にも記述がある。明治期には華やかな色町が形成されたと、東京の吉原遊郭が誕生した際には木辻から遊女が送られたといわれる。今でも町並みの一部に往時の面影を残している。
え-3

04 奈良のため池 奈良県全域 ※地図は「蛙渡池」
大和平野一帯はため池の密集地帯。少雨で大河川がないために水不足対策として造られた。近世以前は集落単位でため池を造り水を確保した。複雑な水利慣行は現在も生き続けていて、地域ごとにため池の管理を担っている。昭和28年に13000以上あったが現在は開発化で約5800ヵ所に減った。最光明潟なる奈良市の経設池は県内最大級。
B-5

05 大雨のあと側溝にあふれる金魚 大和郡山市
金魚の名産地大和郡山市内の金魚養殖場付近では大雨の後、側溝や田んぼなどで水とともにあふれた金魚が泳ぐ姿が見られる。市民は見慣れているが他の地域では不思議な光景だ。近所の子どもたちは網とバケツを持ってあふれた金魚を捕って遊ぶ。このときばかりは養殖業者も無認するという。金魚と市民の暮らしは密接にかかわっている。
C-5

06 竜田川の紅葉 生駒郡 斑鳩町
竜田川は生駒山東麓から斑鳩町を流れ大和川に注ぐ。竜田川の紅葉は古くから有名で、その様子を詠んだ歌が百人一首に2首も収められている。今でも竜田大興寺辺は紅葉の名所。魚や肉を醤油やミリンなどに漬け込み片栗粉をまぶして揚げた唐揚げ「竜田揚げ」は醤油の赤色に片栗粉の白が竜田川に浮かぶ紅葉の葉からついたといわれる。
D-5

07 青垣遠景 奈良県北中部
「やまとはくにのまほろば たたなづく青垣(あをかき)やまごもれるやまとしうるはし」。ヤマトタケルノミコトが故郷を思い詠った。現代の県民も同じ思いを持っているのではないか。日々の暮らしの中でふと遠くに視線を上げると青い山々の連なりが目に入る。いつの時代も青垣は生活に潤いをもたらし心にゆとりを感じさせてくれる。
E-7

08 山の辺の道 天理市、桜井市
奈良盆地の東南に位置する三輪山から北へ連なる山裾を縫うように続く。全長約33キロメートルで約2メートルほど。日本最古の道といわれる。沿道には石上神宮、大神神社、長岳寺、崇神天皇陵、景行天皇陵、金谷石仏、万葉歌碑など歴史的文化遺産が点在する。現在はハイキングコースとして名高く全国から歩きに来る。柿や野菜などを販売する地元の人との交流が楽しい。
E-7

09 日本文化の礎 竹内街道 葛城市
二上山の南麓竹内峠を越えて葛城市の長尾神社付近に至る約26キロメートルの道。大和と河内の国を結ぶ古代の幹線道路で日本最古の国道といわれる。沿道には応神・仁徳・継古天皇などを有力者の古墳があり物資輸送や文化伝達の道として重要な役割を果たした。聖徳から上陸した大陸や朝鮮の先進文化はこの道から大和に伝わり、日本の礎となった。
F-4

10 飾り瓦の町並み 今井町 橿原市 今井町
町の6割が伝統的建造物として残る日本でも有数の歴史的市街地で、重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。中世末期に一向宗の寺内町として成立し江戸時代は商業都市として発展。家々の屋根には魔除けの鬼や破邪と防火の護獅子、商売繁盛の恵比寿天や大黒天、子孫繁栄の鶴亀などが約100ヵ所に意匠を凝らした飾り瓦が見られ、往時の栄華が垣間見える。
F-6

11 秋になっても咲く生蓮寺の蓮 五條市
生蓮寺の蓮は6月中旬から10月まで見ることができる。蓮の研究者でもある副住職が品種改良に取り組み、107種も栽培されている。訪れる時期により咲く品種が異なるため、いつ行っても別の花が楽しめる。蓮の種の供料配布やちらっと種を播やして返す里帰りプロジェクトなど参拝者が蓮に親しんでもらう取り組みも行われている。
H-4

12 高見山の霧氷 吉野郡 東吉野村
山容から「関西のマッターホルン」と呼ばれる、1249メートルの山頂は厳冬期、霧が凍り樹木に堆積してできる霧氷がです。幻想的な光景を作り出す。雪山がアイゲンを着用すればそれほど難しくなく、関西一円から登山客が訪れる。この時期は積雪が1メートルを出すほどの豪況ぶりだ。最近はスノーシューイングツアーの人気が高まっている。
G-11

⑬の人工林、世界をみても人工林の歴史は浅いのに、吉野では約400年間にわたって植林が進められているとは・・・スゴイ!

13 日本最古の人工林 下多古村有林 吉野郡 川上村
江戸時代に植林され、手入れする人工林としては日本最古といわれる。面積約3700平方メートルの広さ。樹齢280～380年の杉や檜が林立し、大きな杉では胸高直径164メートル、幹回り515センチ、高さ約50メートルにもなる。県内初の文化財建造物の修理用資材のモデル供給林や研修林となる文化庁の「ふるさと文化財の森」に認定された。
H-8

14 大峰奥駈道 奈良県中南部
修験道の開祖・役小角(えんのおづぬ)が開いた。吉野と熊野を結ぶ全長約70キロメートルの長大な「修行の道」。今なお女人禁制の山上岳や、近畿最高峰の八経ヶ岳など険しい山岳地帯を行く。道中には75ヵ所の行場や拝所が続く。平成16年には「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界遺産に登録された。許今、人気のあるロングトレールの先駆け。
M-8

15 雲海景勝地 野迫川村 吉野郡 野迫川村
海なし県の奈良だが雲の海は広がっている。県内各地の山間部で観られる雲海の中でも野迫川村の雲海は他に類を見ない雄大さが魅力だ。標高700メートルの同村では秋から春までの時季に多く発生する。いくつかのポイントがあり、いろんな構図が楽しめる。日の出の雲海は波のように動き、まさに大海のよう。県民にも知られていない雲海景勝地だ。
L-3

16 大台ヶ原 奈良県南東部
標高1695メートルで吉野郡野国立公園のトップ。三重県との県境にかかる大台ヶ原。年間降雨量5000ミリという多量の雨水を蓄え気象が生み出した豊かな自然が評価され、昭和55年、ユネスコパークに登録された。日出ヶ岳や大蛇嵩など展望地がある東大台と、原生林が広がる西大台の2つに大別され、西大台の入山には事前手続きが必要。日本百名山の一座。
L-10

道路・記念物

17 奈良のピラミッド 頭塔 奈良市 高畑町
国指定史跡で奈良時代建造の土製の塔。一辺32メートルの基壇に、表面が石で覆われた7段に盛られる形状は非常に珍しい。仏塔とみられるが東大寺の僧侶聖の首塚との伝承が名の由来。767年、東大寺の僧侶忠が同寺別当の良弁の命で造ったとされる。忠侍外分は発願調査などを経て復元されて一方、南側は未整備のまま。不思議なピラミッドが住宅地にそびえ立つ。
え-4

18 天之石立神社の一刀石 奈良市 柳生町 柳生字岩戸谷
まっぶたつに割れた巨岩。剣術の達人柳生宗厳が剣術新陰流創始者の上泉信綱に弟子入りし、3年間この地で毎夜天狗を相手に剣術修行したという。ある夜、天狗を切ったと思いきやこの岩で、岩面には天狗の足跡が残っていたという。宗厳は柳生新陰流の始祖となった。現在は柳生新陰流を継承しようと古文書研究や稽古会が行われている。
B-8

19 三宅古墳群 磯城郡 三宅町、田原本町、川西町
三宅町と田原本町、川西町にまたがる小規模の前方後円墳からなる。5世紀後半から6世紀前半のもの。奈良盆地中央部の低湿地に小規模な古墳群が存在するのは全国的に珍しい。古墳は住宅や農地に隣接し子どもたちの遊び場など住民の生活と密接に関わり合っている。三宅町は古墳群を整備して観光資源として活用する方針を示している。
E-5

20 天空の城 高取城址 高市郡 高取町
南北朝時代に築かれ本格的に整備されたのは戦国期。豊臣秀長が郡山城主になった際に重臣の本多氏が築いた。本丸に天守閣を備え、多数の櫓を備えた本格的な要塞。江戸期には高取藩庁として存続し、明治6年に廃城になるまで使われ続けた。日本三大山城の1つ。最近、芝桜観賞「天空の城ラピュタ」の世界観に通じると人気が高まっている。
G-6

21 お茶とともに歩む 奈良県全域 ※地図は「病院寺」
729年、聖武天皇の時代にお茶が供えられた記録がある。茶畑の栽培は806年に弘法大師が唐から種子を持ち帰り、弟子の堅恵大徳が宇陀市榛原赤埴の俤隆寺に製法を伝えたのが大和茶のはじめといわれる。同寺には大師が唐から持ち帰ったとされる茶臼が残る。生駒市高山町の茶苑は生産量日本一。奈良の歴史は日本の茶文化の歴史だ。
F-9

22 ニホンオオカミの像 吉野郡 東吉野村
絶滅したといわれるニホンオオカミ。明治38年、東吉野村で捕らえられた若いオスの国内唯一剥製となった。その標本は、採集した地名駕家口からニホン・ホンド・ワシカグチと記録される。日本最後のニホンオオカミをモデルとして造られた等身大のブロンズ像は、かつて台高の山野を咆哮した雄姿をとどめ、自然愛護の願いが込められている。
H-10

建造物

23 奈良少年刑務所 奈良市 般若寺町
明治41年に旧奈良監獄として建設された。レンガ造りでドーム屋根の円塔を持つ表門や放射状に並んだ収容棟など日本の近代化を象徴する建物。現存する刑務所では日本最古で、江戸時代の牢獄も一部残る。平成29年3月で閉鎖される。法務省は、地元や専門家の保存要望を受け、運営権を民間に売却しホテルや博物館として再利用を目指す。
あ-3

24 奈良女子大学記念館 奈良市 北魚屋西町
女性教員の養成を目的に設立された奈良女子高等師範学校の前身。本館(現記念館)と守衛室、正門が重要文化財に指定。設計は京都帝国大学建築部長の山本治兵衛が中心的役割を果たす。本館は左右対称形の木造2階建、瓦屋根の中央に小棟がある。外壁は真壁造で縦長の窓を正べた意匠。地元の人々から「ならじょ」と親しまれる同大の象徴。
い-3

25 JR奈良駅旧駅舎 奈良市 上三条町
昭和9年建工。和洋折衷の外観と内装が特徴。方形屋根に寄棟風の九輪をのせ、四隅には鳳凰、内部中央には大仏殿に見られる格天井が施され、宝相華や忍冬文様などと古代文様の飾りも美しい。新駅建設の際、保存のため解体せずに移設する曳家工事を採用。駅舎を反時計回りに3度回転し、北東へ約1キロメートル移動させた。現在は奈良市総合観光案内所。
う-1

26 日本初の公開図書館 芝亭 奈良市 法華寺町
奈良時代末期の貴族で文人の石上宅嗣(いそのかみやかつぐ)が自宅の一角に開いた日本最古の公開図書館。資料の閲覧希望者には閲覧を許したとされる。建物は現存していないが芝亭があったとされる場所(現在の奈良市立一条高校敷地の東側)には記念碑(顕彰柱)と説明板が立つ。県内でも図書館関係以外には知られていない。
B-6

27 生駒山上遊園地の飛行塔 生駒市
高さ30メートルからワイヤーでつるされた飛行機型ゴンドラが目転する。開園した昭和4年に日玉アトラクションとして建設され、ほぼ当時のままの形で稼動している。現存する日本最古の大型遊具だ。標高642メートルの生駒山頂から大阪平野や大和盆地、山城盆地が一望でき、初日の出や夜景を眺める絶好のスポット。奈良の若者のデートコースとしても人気が高い。
C-4

28 長谷寺の長い登廊 桜井市 初瀬
仁王門から本堂に至る登廊で399段ある。長谷寺験記によると平安時代、春日大社宮司の息子が長谷観音の霊験により病気平癒し、喜んだ宮司が10日間で登廊を建立寄進したと記す。明治の火災で下から上がってきた火勢を中登廊を壊して消し止めたという。明治時代に下・中登廊が再建された。5月の連休には華やかな牡丹の花が見頃を迎える。
E-8

交通

30 生駒鋼索線 生駒市
生駒市の鳥居前駅から宝山寺駅を経て生駒山上駅までを結ぶ近鉄のケーブルカー線。生駒ケーブルとも呼ばれ鳥居前駅～宝山寺駅間の宝山寺線と宝山寺駅～生駒山上駅間の山上線の2区間からなる。大正7年開業の宝山寺線は日本最初の営業用ケーブルカーで、通勤通学の生活路線でもある。イヌやネコなどをデザインしたかわいい車両が目を引く。
C-4

㉛の国道、ただの道ではありません。
斜度30度に、幅1.3メートルの道・・・国道ならぬ「酷道」だと密かに人気だそうです。

31 国道308号 生駒市、奈良市
奈良市と大阪市をほぼ直線で結ぶ。さらに東の先は春日大社へ至る。奈良市俣は普通の国道だが生駒山麓から西は田畑道の趣を残した旧道に様相を変える。県境の稲峠を越える区間は最大斜度31の急勾配。最大幅1.3メートル制限と道幅が狭い張所もあり車の通行が困難になるほど険しい。石畳が敷かれた麓付近は風景がおりハイキングコースとして人気が高い。
C-3

32 八木新宮特急バス 奈良県中南部 ※地図は「近鉄大和八木駅」
近鉄大和八木駅から和歌山県の熊野営業所まで全長66.9キロメートルを約6時間半で走る奈良交通の路線バス。停留所数は167で高速道路を使わない路線では日本一長い走行距離を誇る。住民の生活路線であり、天辻峠や猿谷ダム、十津川温泉、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」などを駆け抜ける観光路線でもある。紀伊半島をゆっくり縦断するにはうってつけだ。
F-6

33 幻の五新線跡 五條市
紀伊半島を貫く五條市から和歌山県新宮市間の鉄道敷設計画が頓挫し、昭和30年代に建設された路盤の一部が残る。同40年から代わりに運行されたバスも平成26年に廃止。美しい形状のアーチ橋が住時の隆盛をうかがわせる。現在はウォーキングスポットとして人気が高まっている。平成9年には映画監督河瀬直美さんの作品「萌の朱雀」の舞台になった。
I-4

34 人力ロープウェイ 野猿 吉野郡 十津川村 平谷
川の両岸から張られたワイヤーロープから吊り下げられた「やかた」に乗り、自力で引き綱をたぐり寄せて進む。猿がホンワケを伝って行く様から付けられたという。かつては村人が対岸に渡る交通手段で、厳しい自然の中で暮らすための生活道具だった。今は歴史が知られ観光用として人気を高めている。渓谷を流るスリル感と深い山々と美しい川面が見渡せる眺望は格にない。
P-5

工芸品・製品

35 古代瓦 奈良市 ※地図は「元興寺」
国宝の極楽堂と禅室の屋根に使われている。飛鳥時代創建で前身の法興寺に使われていた瓦を平城京遷都とともに元興寺に移築。解体修理の際、使用可能な古瓦を再利用した。現在も飛鳥、奈良、平安、鎌倉と各年代の瓦や丸瓦、平瓦が隅り合うように葺かれている。極楽堂と禅室の屋根には古代の軒平瓦もある。1400年もの間、寺を守り続けてきた奇跡の瓦だ。
え-3

36 奈良晒 奈良市 ※地図は「ロマントピア月ヶ瀬」
奈良上布とも呼ばれ、江戸時代中期発刊の「日本山海名物図会」には「麻の最上は南都なり」と紹介されるほど織物では一級品。徳川幕府の御用品にもなった時期は新興、衰退が減少し衰退の一途をたどる。大正年間に月ヶ瀬に工場が立ち、村の産業として継承される。昭和54年、筋織技術が県無形文化財に指定。同58年に月ヶ瀬奈良晒保存会が発足した。
B-10

37 灯芯ひき 生駒郡 安堵町 ※地図は「安堵町歴史民俗資料館」
低湿地を生かしたイグサ栽培が盛んだった安堵町。イグサの髄部分「灯芯」は灯りの燃え芯として東大寺の「お水取り」など寺社の祭事に使われ、全国に供給されている。今では同町以外で見ることが難しい灯芯作りの技「灯芯ひき」は高い技術と根気強さが必要だ。日本の灯りや伝統祭事を支える貴重な技が脚々と受け継がれている。
D-5

38 奈良さくらコットン 大和高田市
大和高田市南工会議所で栽培される特産綿花の綿を使う。薬品を一切使わず手摘みし、漂白も染織もしない綿製品。この地域は大和朝廷以来、機織技術者が住み、江戸時代には綿花栽培が盛んになり、後に南都として発展した歴史を持つ。江戸時代の「大和木綿」の製法で現法した同品は、農薬や化学薬品を使用しないため驚くほど柔らかな手触りだ。
F-5

39 全国に誇れる杉玉 桜井市 三輪 ※地図は「大神神社」
全国の居酒屋や日本酒の造り酒屋の新先につるされている杉の葉(穂先)で作られたボール状の造形物。新酒ができたことを知らせ、緑色の杉玉の枯れ具合で酒の熟成度合いをはかる。現在は酒屋のシンボルになっているが、古くは大神神社(桜井市)の酒神が起源。酒の神様に感謝をささげるものであり、神道の原始的な形を表す。
E-7

40 奈良のくすり 奈良県中南部 ※地図は「奈良県製薬協同組合」
日本書紀には推古天皇が宇陀地方で薬狩りをしたとの記述がある。山伏の祖、役行者(えんのぎょうじゃ)の「陀羅尼助」は日本最古の売薬といわれる。中南部地域で製薬業が盛んになり、江戸中期には全国で薬を販売しまわる配置薬業「大和の置き薬」が興及。昭和40年代には約400人の県出身配置員がいた。置き薬のパッケージはレトロな図柄が特徴。
F-5

41 手すき和紙 吉野郡 吉野町 ※地図は「福西和紙本舗」
国指(くず)地方の伝統工芸で「宇陀紙」とも呼ばれる。材料のコウゾやミツマタなどの樹皮を冬の川で洗う光景は吉野の風物詩。1枚1枚職人が丁寧にすいた和紙は芸術品だ。現在は重要文化財の修正や掛け軸の表装などに使われる。地元の小学校では自分ですいた和紙で卒業証書を作っていた。ハガキやポチ袋は可愛らしくて人気が高い。
H-8

42 吉野杉箸の花 吉野郡全域 ※地図は「吉野杉箸商工業協同組合」
明治の初め、吉野杉材で作る酒樽の材料の銘材が捨てられるのを惜しんで考案された割り箸。自然を愛し、資源の有効利用の精神は先人から受け継がれている。現在は製材した残りの利用度の低い部分(端材)だけを使う。後継鎮天皇へ献上したり、千利休が客人をもてなす際に自ら吉野杉を削って箸を用意したと伝わる。古くから料理と食す人を取り持つ名脇役だ。
H-6

43 吉野杉面皮工芸 吉野郡 下市町 新住 ※地図は「花井商店」
吉野杉は超密植と多間伐を繰り返して育てることで年輪幅が狭く色目の美しい高級材となる。その年輪を1枚ずつはぎ取り「面皮」と呼ばれる薄い板状の素材を使った小物やアクセサリーをはじめ、日本らしい柔らかさが感じられる空間装飾が注目されている。実用だけでなく新たな造形アートとして吉野杉の新たな可能性を切り開いた。
H-5

観光

44 植村牧場 奈良市 般若寺町
コスモスで有名な般若寺の真向いにある小さな牧場。牧場主は四代目。病弱だった祖代が健康のために飲もうと乳牛を飼いはじめたのが始まり。明治16年創業。現在は30頭の牛を飼育し、1日1500本の低温殺菌牛乳を手作業で真心をこめて作っている。ソフトクリームやカフェランチも人気がある。
あ-3

㊺のコロッケ屋、子どもの頃、毎日のように買いに行ってたなぁ。昔はいつ20円だったコロッケ。時代の移り変わりを感じますねえ~。

45 ころっけのハヤシ 大和郡山市 南郡山町
近鉄大和郡山駅前にある名物コロッケ屋。昭和28年創業。現在は1個70円。とても美味しく、地域の人たちに愛される駅前の顔だ。駅を利用する人は一度は味わったことがあるだろう。わざわざ遠中下車して買いに来る人もいるほどだ。かつては名物のおばちゃんがコロッケを揚げていたが、現在は引退している。TOKIOのリーダー城島茂さんの一押し。
C-6

46 森野旧薬園 宇陀市 大字陀上新

室町時代創業。宇陀市大字陀地区（文化庁重要伝統的建造物群保存地区）の江戸時代から残る古い町並みにある。葛粉を作り始めて11代目の藤助が享保年間に自宅の裏山に開いた。東京の小石川植物園と並ぶ日本最古の民営薬草園。約250種の薬草が来園者の目を楽しませてくれる。近年、漢方薬や生薬が見直され来訪者が増えている。

F-8

47 喫茶 瀞ホテル 吉野郡 十津川村 神下

瀞峡は、奈良・三重・和歌山県にまたがる吉野熊野国立公園の景勝地。下流の瀞八丁は国の特別名勝と天然記念物に指定。切り立つ断崖の上に建つレトロな建物だが中はおしゃれなカフェ。大正6年材木を筏に組んで運ぶ筏師の宿「あづまや」として開業。後に「招仙閣」、昭和初期に現在の名に。今は宿泊できない。幻のカフェと呼ばれる。

P-7

食

48 春日はくたくうどん 奈良市

うどんのルーツといわれる。平安時代の貴族が記した「小右記」には一条天皇が春日社に行幸した際にふるまわれたとある。鎌倉時代の料理書をもとにNPO法人「奈良の食文化研究会」がもっちりした食感の平麺を再現。小麦粉や米粉、ヤマイモで作った生地を幅広の麺に仕上げた。奈良市飲食店組合を通じて商品化も考えられている。

う-5

49 奈良の茶粥 奈良県全域 ※地図は「宿の茶屋」

「おかいさん」の愛称で親しまれている。『古事類苑』には「大和の国は農家で一日に4、5度食する」とあり、東大寺二月堂のお水取りの期間中、練行僧の食事にも出される。奈良県の一般家庭では木綿の茶袋に焙じた粉茶を入れ、冷やご飯で炊くことが多かった。地域によってはおかきや餅、野菜を入れる。現在は常食する家庭は少なくなった。

う-3

50 きなこ雑煮 奈良県全域 ※地図は「ホテルアジール・奈良 日本料理 かがりや」

雑煮の餅をきなこにつける奈良独自の食べ方。発祥は諸説あるが、きなこの色が稲穂や金を連想させ幸せや豊作を祈願した。調子は人の頭、豆腐は白壁の蔵、コンニャクは土蔵の象徴で、蔵が建つように上と四角く切る。丸く1年が過ごせるように丸餅を入れ、ダイコンやニンジンは輪切りにする。1つのお椀に家族の健康と子孫繁栄の祈りを込めた。

う-2

51 奈良漬けサブレ 奈良市 ※地図は「山崎屋」

奈良漬の酒粕に由来する健康に役立つ成分と酒粕の塩分や甘味、独特の風味を最大限いかした焼き菓子。奈良女子大学が研究し民間企業と共同開発した。奈良漬のアルコール分は飛び際に蒸発するので奈良漬の苦手な人や子どもでも美味しく食べられる。女子大生の感性でおいしくおしゃれに作られた奈良の新しいスイーツとして期待される。

う-3

㉜の「ひしお」、漢字一文字で「醤」と書くんです。今の醤油があるのは、ひしおのおかげかもしれませんね。

52 古代ひしお 奈良市 ※地図は「なら泉 醤醤」

古代中国で穀物を原料とする発酵調味食品「穀醤（こくびし お）」が飛鳥時代に伝来し、しょう油のルーツとなる。6世紀中頃の中国の史料に、大豆に麹を加えるしょう油製造とほぼ同様の工程の記述があり、その穀醤を現在の技術と日本の風土に合うよう再現したのが古代ひしおだ。奈良時代には日本人の味覚「うま味」が確立したとされる。

う-3

53 奈良のお酒 奈良県全域 ※地図は「なら泉 醤醤」

奈良は清酒発祥の地。大神神社は酒の神大物主大神が祀られ全国の酒造家の信仰を集める。平城京跡からは清酒や白酒などさまざまな酒を記した木簡が出土。大寺院がある奈良では荘園で作られた米で僧侶酒と呼ばれる酒が盛んに造られた。奈良市の正倉院や法隆寺は室町時代の最盛期に大量の僧侶酒を造り、その技術は日本中に伝わったとされる。

え-3

54 レインボーラムネ 生駒市 俵口町 ※地図は「イコマ製菓本舗」

幻のラムネといわれる。1袋900グラムが500円。ピンク、黄、白、青の4色。軽やかな酸味が特徴で後味もさわやか。口に含むとすっと溶けて後を引くおいしさだ。購入は申込制。毎年3月と9月の抽選では約2万人の応募に対し約1000人しか当選しない狭き門だ。品質にこだわるため大量生産ができないという。全国から注目を集める。

B-4

55 御城之口餅 大和郡山市 柳 ※地図は「本家菊谷 本店」

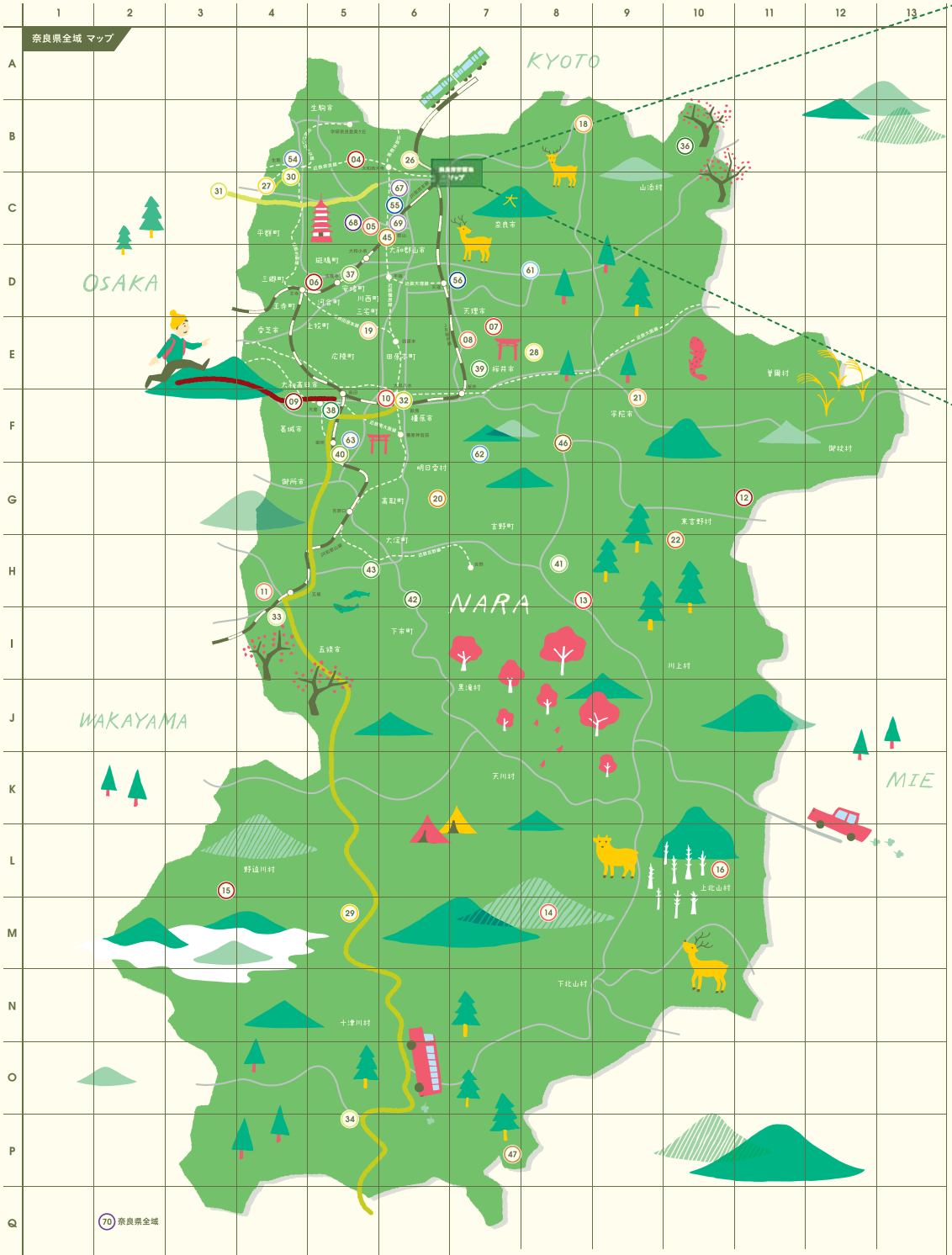
豊臣秀吉の弟秀長が、秀吉をもてなす茶会で提供する菓子作りを命じたのが始め。粒あんを丸で包みきなこをまぶした菓子を献上したところ秀吉は大変気に入り、「餅餅」と命名したとされ、餅餅の原型との説もある。店が城の門外に移り移り人街の1軒目にあることから付いた名称だという。大和郡山市民の贈り物の定番。冷凍便も好評だ。

C-6

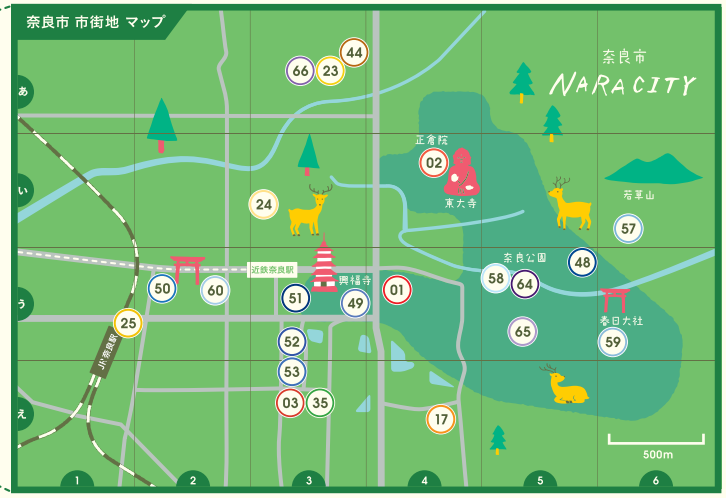
56 天理ラーメン 天理市

ダシはトコツと鶏ガラがベースでしょう油タレを使う。具は、炒めた白菜や豚肉、ニラなどを使用した辛くて濃厚なこってりラーメン。全国から集まる天理教の信者や地元天理大学の学生向けに作られた中華料理もそこに寄家されたというわ、始めは屋台だった。高カロリーと分かっていながらついて食べてしまう奈良県民のソウルフード。

D-7



スマホアプリで巡る「奈良遺産70」は、こちら



行事

57 鹿せんべい飛ばし大会 奈良市 若草山

奈良公園の北東に位置する若草山で年3回ほど開催。通常の鹿せんべいよりやや大きい直径20センチの特大鹿せんべいを投げて飛んだ距離を競う。50メートル飛ばす猛者もいる。老若男女問わずに参加できる。同じ距離の場合は年少者の勝利や、鹿が投げたせんべいを食べてしまった場合は、その右前足を着地点にするなどゆるいルールが特徴。優勝賞品は鹿の角トロフィー。

写真提供：奈良市観光協会

い-6

58 なら燈花会 奈良市

古都の夏の夜を約2万個のろうそくで彩る。興福寺や奈良国立博物館など奈良公園一帯の10会場でカップに入ったろうそくに火をともし幻想的な風景を演出する。平成11年に始まり、夏の風物詩として定着。8月初旬から10日間の会期中、全国から約40万人が来場する。大勢のボランティアによって運営される市民参加型イベントとしても注目されている。

う-5

59 春日若宮おん祭 奈良市

古都奈良の1年を締めくくる春日大社末社若宮神社の例祭で、国指定重要無形民俗文化財。平安末期の保延2年（1136）9月17日、関白藤原忠通が五穀豊穣を祈って始めて以来、一度として途切れることなく、連綿と守り継がれている伝統行事。奉納される猿楽（能）や雅楽、神楽や舞楽などの芸能は中世以前の芸能の継承・保存に大きな役割を果たしている。

う-6

60 林神社の饅頭まつり 奈良市 漢国町

漢国神社内にある。1349年に来朝した中国の僧林浄因がわが国最初の饅頭を作り好評を博し、足利将軍家や宮中に献上するに至った。4月19日に菓祖神（かそじん）林浄因の偉業を讃えると共に菓子業界の繁栄を祈願する祭り。全国から菓子業界関係者が参拝に訪れたくさんの饅頭が献上される。お下がりのじょうよ饅頭をいただける。

う-2

61 氷室神社献氷祭 天理市 福住町

福住町の氷室神社は「氷の神」を祀る珍しい神社。冬期に氷を氷室に収めて保管し、夏に取り出して朝廷へ献上していた。献上は旧暦の6月1日に行われていたとの言い伝えから、現在は新暦の7月1日に献氷祭が行われる。神饌には瓜や餅、小豆の他に天然氷が供えられる。日本書紀には、宮中では夏場に、凍に氷をひたして飲んだとある。

D-8

62 談山神社のけまり祭 桜井市

多武峯の談山神社が祭る藤原鎌足が中大兄皇子と蹴鞠会（けまりえ）で出会ったという故事にちなみ、毎年春と秋に開催。烏帽子（えぼし）に鞠水干（まりずいかん）と呼ばれる上衣姿の保存会の人たちが3人グループになり、鹿の皮で作ったまりを蹴り合う。まりを落とさずにパスが続くと見物人から歓声が上がる。紅葉の中、装束姿で蹴り合う様は優雅そのもの。

F-7

63 吉祥草寺の大とんど 御所市

修験道の開祖、役行者が創建した同寺の伝統行事で県指定無形民俗文化財。大和地方に多く伝わるとんど祭りで最大規模。1月14日に、五穀豊穣や無病息災、平和への願いが込められた炎は、冬の夜空に天高く舞い上がる。雄雌一対の大松明（高さ6メートル）は地元住民が作り、代々各家に伝わる役割がある。担い手減少の中、伝承の努力がなされている。

F-5

その他

64 鹿せんべい 奈良市

10枚で150円。奈良の鹿愛護会公認の証紙で巻かれ、製造業者が愛護会から証紙を購入。愛護会の貴重な収入源となっている。鹿の主食は木の芽や実、笹や芝生で、せんべいはおやつになる。米ぬかと小麦粉を約6対4の比で水に溶き、焼きあがたもの。食用のせんべい焼き機が使われている。

う-5

65 奈良公園の鹿救急車 奈良市 春日野町

奈良公園の鹿は、夜間は森で寝り、夜明けとともに公園に姿を現す。公園内やや近の車道には「鹿飛び出し注意」の標識があるが、鹿と車の接触事故は年間約150件も発生する。事故発生で出動するのが鹿の救急車。24所間体制で通報を受けるとただちに駆けつける。春日大社境内の鹿苑は鹿の保護施設でケガや病気を治療する。

う-5

66 奈良のスポーツクラブ 奈良市

サッカークラブ「奈良クラブ」は日本フットボールリーグに所属しJ3昇格を目指す。奈良の枕詞「あをによし」に由来する青と赤がクラブカラー。毎年、奈良をモチーフにデザインしたユニフォームが話題に。発足のプロバスケットボールチーム「バンビシャス奈良」は平成28年からBリーグに所属。スポーツで奈良の活性化をはかる。

あ-3

㊼の薬師寺のお坊さんはみんな話上手。難解な仏教の教えや奈良の歴史文化を分かりやすく解説してくれますよ。

67 笑いとともに仏心を育む 薬師寺の団体法話 奈良市 西ノ京町

昭和の中興の祖といわれる高田好胤師が始めた法話。訪れる修学旅行生や参拝者を対象に、僧侶が軽妙でユーモアたっぷりの語りロで難解な仏教の教えや奈良の歴史文化を分かりやすく解説する。多くの修学旅行生が奈良で最も印象に残ったと答えるという。より深く奈良文化を学んでもらおうと僧侶が修学旅行生の宿泊旅館に出向いて講義する旅館法話もある。

C-6

68 水車踏みのジオラマ 大和郡山市 矢田町

県立民俗博物館内にある昔の大和地方の農作業の様子を表した人形。奈良県出身の漫才コンビ「笑い飯」が漫才大会で同郷の人形をモチーフにしたネタを披露したところ全国から殺到を浴びるようになり、来館者が増えたという。ただ、ネタとなった人形は実在しないため、雰囲気を楽しみたい。収集した多くの大和の民具や生活道具は必見。

C-5

69 金魚の町 大和郡山市

平成7年から開かれている全国金魚すくい選手権大会。今年は全国から約2000人が参加、夏のイベントとして定着した。個人戦と団体戦で、水槽から3分間に1枚のポイですくう金魚の数を競う。地場産業をイベント化し成功した。同大会を目指す人に金魚すくい指導や練習場を提供する「こちらや金魚すくい道場」など金魚の町は盛り上がっている。

C-6

70 マラソンタオル 奈良県全域

幼稚園や小学校で、冬のマラソン大会に向けて走る練習の際、体操服の下に着込む。大量の汗を吸うスグレモノ。大会が近づくと学校から製作通知が届き、多くは母親が手作りする。二つ折りにしたタオルの折り目を切り、頭からかぶる。男子は白が多いが、女子はかわいい柄入りを好む。毎年必要なのでバザーに出すとすぐ売り切れる。タオルシャツと呼ぶ地域もある。

奈良県全域

ボクたちも知らなかった、
奈良の“ええとこ”が満載！

「奈良遺産70」公式サイト http://www.nara-np.co.jp/heritage70/